

事業計画書
(事業番号)

事業内容				
実施団体 (保存会等名称)	〇〇屋台保存会		設立年月日	平成14年9月28日
対象となる文化財	〇〇組屋台		当該地域 での起源	江戸時代
	指定の有無	☐ 有 (指定	文化財)	☒ 無
対象の用具が用いられる 伝統芸能・伝統行事等の名称	伊曾乃神社秋季例大祭			
対象となる文化財の概要及び 上記伝統芸能・伝統行事等の由来・歴史	伊曾乃神社においては江戸時代から例大祭でだんじり等の奉納が行われており、現在も継承されている。江戸時代の祭り絵巻は「伊曾乃祭禮細見図」（東京国立博物館蔵）と「伊曾乃大社祭禮略図」（伊曾乃神社蔵）があり、当時からだんじりの奉納が行われていることが分かる。 【対象となる文化財や伝統芸能・伝統行事等の起源】 ・〇〇屋台の由来 〇〇屋台として伊曾乃祭礼絵巻に描かれ、天保期（1830～1844）創建とされる。大正〇年の〇町の分離を機に、現在は上組、下組の2台を奉納している。〇町〇組としては、昭和〇年より分離奉納。その後昭和〇年より子供屋台を奉納していたが昭和〇年より大人二階屋台を新調奉納。昭和〇年より現三階屋台を奉納し現在に至る。			
	・現〇町〇組屋台の履歴 大正〇年●町で新調・昭和〇年●●町が購入・昭和〇年●●町下組購入・昭和〇年当保存会が購入した。新調時より伊曾乃神社秋季例大祭に奉納し、令和〇年度で奉納100周年目となり、〇町〇組としては〇〇年目の奉納となる。大工は◎◎◎。彫師は◎◎◎。彫物の図柄：「花鳥」。水引幕は紫地に白色の源氏車の一つ紋。			
令和5年度事業の内容	☒ 用具等整備 (修理)	☐ 用具等整備 (新調)	☐ 後継者養成	☐ 記録作成・情報整備

① 水引幕（修理）
昭和〇〇年より現在まで〇年使用してきましたが、経年劣化に伴い、まだらに色落ちし、当初の美しさが損なわれました。また生地劣化で再染も出来なため、従来の仕様・図柄（源氏車紋）で修理（新調）を行います。

② 小丸提灯（修理）
コロナ禍で丸々３年ぶりに使用すると、特に穴開きや破れ等が多く、例年以上に穴明き提灯が目立ちましたが、修理する時間もなく、今年度はそのまま使用しました。その結果、空気の供給量が増え、蝋燭の炎も大きく燃焼も速くなり、蝋燭の燃え尽きも規格より早く、従来の約二倍の蝋燭本数を使って不経済であり、何よりも穴開き提灯は貧相でみっともなく、大いに美観を損ねましたので、全数を総点検し、損傷の大きい７７個の提灯を上下の鉢も外して点検した結果、鉢類は残存部品として転用可能であったので、焼失滅失した５個も含め全８２個の提灯火袋を従来寸法・図柄で修理します。

収入内訳	区分	金額 (予定を含む)	内訳	
	本事業による補助金の 交付要望額	589,000		
	本事業以外の 補助金・助成金	0		
	自己負担金	274,500		
	その他収入	0		
	収入合計	863,500		

事業区分	用具等整備 (修理)						
修理対象用具	① 水引幕	来歴	昭和 5 4 年	修理箇所	幕全体	所有者	○町○組屋台保存会
修理対象用具	② 小丸提灯	来歴	昭和 5 4 年	修理箇所	火袋	所有者	○町○組屋台保存会
修理対象用具	③						
評価指標区分	・ 保存会会員数の変化（維持）					（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標	保存会会員数						
目標値	(現状値) 令和 4 年度 92 名 ⇒ (目標値) 令和 5 年度 102 名						

経費内訳		総事業費	補助対象経費		補助対象外	謝金の場合 氏名・所属
			交付要望額	自己負担額等	経費	
【請負費】	○町○組屋台水引幕 修理費用（見積番号①）					
@	547,800 円 × 1 張 × (単位) × (単位)	547,800	465,000	82,800	0	
【請負費】	○町○組屋台小丸提灯 修理費用（見積番号②）					
@	3,850 円 × 82 個 × (単位) × (単位)	315,700	124,000	22,200	169,500	
(選択)						
@	円 × (単位) × (単位) × (単位)	0				
(選択)						
@	円 × (単位) × (単位) × (単位)	0				
(選択)						
@	円 × (単位) × (単位) × (単位)	0				

支出合計	863, 500	589, 000	105, 000	169, 500	
------	----------	----------	----------	----------	--